

愛が落ちた光の中 淡くひらひら風に舞うて伝うメロディ
ぼやけた 独密の場所
やがてほら ほら 愛を知って愛ありゆく君がいて

消えない魔法片手に 飛べない想い ひとつ
柔らかい調べか 弱気な僕を連れ出した

按:色隠り歌もる季節に
Say Hello! そう Hello! 世界 観てて君へと
飛べない難のように羽ばたく
まだきつと届かない 手と手取り合って飛び立て

手隠り寄せた心の奥に 甘くふわふわ泡となつて消えるメモリー
思えば 色んなこと
せめて ただ ただ 時が経つても忘れないで僕のこと

像いその灯火 消えてしまう前に
譲れない想いが 燐旗のように絡まつて

恋本じの風届く頃には
Say Hello! そう Hello! 未来 前を見て君へと
葉桜の中舞う僕らは
まだきつと気付かない 手と手触れ合って進かへ

踏み出してみよう ざわめきもほら

憂鬱な午後も 悪くはないよ そうだろ?
塞ぎ込むことも なくなったよ
吹き飛はすほど 強くはないが そうなんだよ
転がる矢に

憧れと理想を描き続けて
そう今 ここに立つていろんだよ

木漏れ日の風そよぐ季節に
Say Hello! そう Hello! 世界 続いてゆく明日へと

飛べない難のように羽ばたく

まだきつと届かない 手と手取り合つて ほら

いつか大空の彼方へ

Hello World

Transparent Blue

——透明な表しみで彩つた物語
散らばつた夢を 変わらずいつまでも抱きしめて——

嗚呼 あの時言えなかつた言葉
こんなにも小さかつたのに 伝わらない
だけど 小さなそれは 僕の中大きくなつてきて
巡る日々も 季節も飛び越えて

ずっと怖がつて 失つて一芽えない僕らの
涙の後には 抱きじめて そのまままで

戸惑つて 疲り減つて 傷い
消えそうな想いは 鮎焼けの風に揺られて
だから

いつだつてこの場所で始まつた明日の
震れたそのひとかけら 空を映して
曖昧で不確かな 憶み語でないで
どこかで答えをくみるから Don't let me go!

そう 秋風 舞い上がつたメロディーは
雨上がりの大空に 二人の夢を残して

そつと切り取つて 重なつて 優しい ほら君の笑顔
停滯するイメージを残して can't stop anymore

そうやつて気まぐれに逃げ出しその昨日
おえ誰も彼も孤独なら 夜を終わらせて
何回踝いても 休み止めないで
隣で見守つてあげるから Don't let me down!

昨日までの嘘も 今は気にしないで
迷つた時は ただ いつだつてそう let me know
その願い 暗がりを今照らすよ
さあほら 思わないで

そうやつて手探りで踏み出したの
震れたその隙間から 空を見上げて
曖昧で不確かな 憶み尽きないよ
いつかは答えて…
そうさ

いつだつてこの場所で始まつた明日の
震れたそのひとかけら 空を映して
何回踝いても 休み止めないで
いつでも見守つてあげるから Don't let me go!